

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス とびらえ				公表日	R8年 03月 06日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	自由支援の部屋と学習、集団活動の部屋で分けている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	シフト管理にて職員の配置を管理している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	視覚からの情報も受け取りやすくするため掲示等で配慮している。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	営業終了後に全ての部屋の清掃を行っている。また定期的に玩具の消毒も行っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	「静」「動」の部屋を必要に応じて使い分けている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	85%	15%		ミーティングで決定した内容が継続できていない。休みだった職員にミーティングの内容が伝わっていないこともあったので改善が必要。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	初めての評価表となったので今後の良い施設作りにつなげていきたい。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	85%	15%		PDCAをしっかりと回せるように意識する。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	85%	15%	良好な関係性を築けている事業所に相談やアドバイスを求めながら業務改善を行っている。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	外部研修に積極的に参加。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	モニタリングによって個々の利用者や保護者の意向を取り入れる。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	お子様・保護者様と担当職員で定期的にモニタリングを行い、ニーズの把握やアセスメントにより支援計画を作成しています。標準化されたアセスメントシートや観察のアセスメントからお子様や保護者の様子を客観的に分析しています。	面談やモニタリング、日々の支援記録については内容を電子カルテに記載し共有できるようにしています。また、個人カルテにも必要な記録を印刷し確認できるようにしています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	月案を作成する際、目的を明確にし作成している。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	職員全員がアプリを使用し支援計画を確認できるようにしている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	保護者の方にはLineを使用し活動の様子を動画・写真で確認できるようにしている。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	児童発達支援のガイドラインに沿って必要な項目や支援内容を設定しています。	必要な項目や支援内容について設定されていますが、より具体的に設定することで、常時、関わらない職員が支援に入りやすく統一した支援が提供できるように努めています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	主に保育士中心に活動プログラムの立案を行っています。必要時、他職種スタッフの提案も取り入れています。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	季節のイベントを取り入れた支援をしている。「静」「動」の活動やSSTによる学び、課外活動をバランスよく入れている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	状況に応じて適宜個別活動と集団活動の内容を変更し、落ち着いて過ごせるようにしています。子供たちの状況に応じて会議を開き計画作成をしています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	朝のミーティングで活動内容とねらいについて周知し、ミーティング後にその日の職員で支援内容の詳しい確認をしています	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	0%	100%	緊急性がない場合支援開始前に行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	日々のミーティングにて確認。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	担当者がその日の様子を電子カルテに記録し、支援後の振り返りで追加・修正改善に努めています。次の支援前に再度確認し共有しています。	ミーティング等で事例検討会を行い支援の検証や改善を行っています。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	基本的に児童発達支援管理責任者が参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	基本的に児童発達支援管理責任者が参加している。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0%	100%		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	50%	50%	地域の公園での出会い。	定期的な交流はないので随時検討。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎時に子どもの状況を丁寧に説明している。また活動の様子をLineを使用し動画や写真で見てもらえるようにしている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	適時、電話やLINEなどで情報共有を行い、気軽に相談いただける環境づくりを心がけています。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	契約時に運営規定や支援プログラム、利用者負担額等について説明を行い、質問等あればその場で答えています		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	契約時に本人や保護者の方のニーズを聞き出し、それに基づいた支援を考えています。また、面談時に新たなニーズがあれば、都度合う支援を考えています		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	面談時に支援内容の説明を行い、保護者の方から同意していただいたうえで署名をいただいています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	必要に応じて面談だけではなく、電話やLINE等でも相談を受け付けており、支援方法などを提案しています	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	30%	70%		今後の課題として年に数回は保護者参加のイベントを検討していきたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	契約時に苦情受け入れ体制について説明を行っています。苦情については 時間調整を行い迅速に対応できるようにしています。苦情があれば管理者にすぐに報告しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	HPのブログやInstagramと通じて発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	契約時に説明を行い、同意書にサインを頂いてます。個人情報に記載してあるものに関しては保管場所を取り決め徹底しています。	個人情報に関する法人内の必須研修に参加し、個々に意識を持ち、今後個人情報の取り扱いにより一層注意していきます。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	個々の発達や障がい特性に合わせて絵、文字、時計など工夫して行っています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100%	0%	SNS等も利用して情報発信しています。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	各マニュアルを策定しています。今年度マニュアルの整備を行い、職員に周知しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	水害・火災・地震の避難訓練を毎月行っています。同法人の避難訓練年2回参加しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	保護者様と情報共有しています。また該当の利用者に対しては対応マニュアルを用意している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	指示書を提出してもらいアレルギー対応マニュアルに沿って対応しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	安全計画に基づいた研修や訓練を行っています	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	契約時、面談時に非常時の対応について説明を行っています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	事案が起こった際ヒヤリハットを作成し原因と予防策等を職員間で話し合い周知に務めます。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	身体拘束当禁止適正委員会を設置し、指針や規定を整備しマニュアルを作成しています。保護者に対しては「重要事項説明書」に記載し、各々に説明を行っています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	契約時に説明し、重要事項説明書にもやむを得ない場合の定義について記載しています。		